

青山の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 20点 大問4 34点 大問5 26点

2024年度試験問題

目標点 55点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み	(1) 枯渴	A 2	大問4	論説文	問1 内容把握	B 4
		(2) 蘆	A 2			問2 内容把握	A 4
		(3) 店舗	A 2			問3 内容把握	B 4
		(4) 丘陵	A 2			問4 内容把握(書き抜き)	B 6
		(5) 喫緊	B 2			問5 内容把握	B 4
大問2	漢字の書き	(1) ブショウ	A 2	大問5	現古融合文	問1 語彙	A 4
		(2) コウバイ	B 2			問2 内容把握	B 4
		(3) アンで	A 2			問3 内容把握	A 4
		(4) クニク	A 2			問4 内容把握	A 4
		(5) カセイ	A 2			問5 内容把握(2つ)	C 10
大問3	小説文	問1 内容把握	B 4				
		問2 心情把握	B 4				
		問3 心情把握	A 4				
		問4 内容把握	A 4				
		問5 心情把握	B 4				

問題分析

- 漢字の読み 2 漢字の書き→自校作成校の中では一番易しい
- 小説文 4 論説文 5 現古融合文

講評

難易度は昨年とほぼ同じ。
大問4 2022年・2023年に続き、2つの文章を複合的に読み解く問題が出題
1.2 書き 日常生活の中で目にする語句が多く、標準的な難易度
読み 標準レベルの語句が中心
3 竹内真「図書室のビーナッツ」
例年通り設問は心情把握に関する問題がほとんど。
場面ごとの心情を読み進めていくことも容易なので、なるべく手早く解き進め、
大問4以降に時間を残すことがポイント
4 上村博「身体と芸術」、小林太市郎「芸術の理解のために」
抽象度が高く、読み取りには相応の時間がかかる
作文・記述 本文の主張や生徒Aから生徒Eの会話を踏まえて、「芸術の理解」
ということをおあなたはどのように考えるか。具体的な自分の体験をもとにして
あなたの考えを200字以内で書け。
5 野内良三「無常と偶然」
抜き出し問題が、2023年:2題から2024年:5題に増加。時間配分に
注意が必要。

青山の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点

2024年度試験問題

目標点 65点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点
大問1	小問集	問1 因数分解を利用する計算	A 5	大問3	平面図形	問1 角の大きさ	A 7
		問2 一次方程式	A 5			問2 図形の面積	B 8
		問3 確率	A 5			問3 角が等しいことの証明	C 10
		問4 仮平均	A 5				
		問5 作図	B 5				
大問2	関数			大問4	空間図形	問1 線分の長さ	A 7
		問1 三角形の面積	A 7			問2(1) 合同の証明(選択式)	B 3
		問2 点の座標(記述)	A 10			問2(2) 線分の長さ(記述)	C 7
		問3 三角形の面積	B 8			問3 五角形の面積	C 8

問題分析

- 小問集+作図 2 関数 二次関数
- 平面図形 4 空間図形 (会話文形式→慣れること)

講評

例年捨てる問題がほとんどない、高得点(70点弱)勝負。
難易度の差が大きいため、難易度ABの問題を確実に取ること。
1 例年通り小問5題の出題。難易度の差が大きい青山の数学
では、この小問は全問得点したい。
2 典型問題が多く、大問1同様、確実に得点したい。
3 平面図形。問3は等しい角を選び、それを証明する問題だが、
方針が立ちにくく難問。
4 空間図形。生徒と先生の会話文で問題が構成されている。
問3の五角形の面積は難問。

青山の英語

配点 大問1 20点 大問2 32点 大問3 48点

2024年度試験問題

目標点 70点

設問ごと分析

大問	出題内容	難易度	配点	大問	出題内容	難易度	配点	
大問1	リスニング	問題A 対話文1 内容一致	A 4	大問3	説明文読解	問1 適文補充	A 4	
		対話文2 内容一致	A 4			問2 内容把握	B 4	
		対話文3 内容一致	A 4			問3 語順整序	B 4	
		問題B Q1 内容一致	A 4			問4 内容把握	A 4	
		Q2 内容一致記述	B 4			問5 適語句補充	A 4	
		大問2	対話文読解				問6 内容把握	A 4
		問1 適文補充(4か所)	A 8			問7(1) 内容一致	B 4	
問2 内容把握	A 4	問7(2) 内容一致	B 4					
問3 適文補充	A 4	問7(3) 内容一致	B 4					
問4 内容把握	A 4	問8 内容一致	C 4					
問5 内容一致(2つ)	B 4	問9 条件付英作文	C 8					
問6 内容把握	A 4							
問7 内容一致	B 4							

問題分析

- リスニング 2 会話文
- 小説文 4 論説文 長文の語数 約2300語

講評

難易度はほぼ前年並み。自校作成校の中では解きやすい問題が多い。
図やグラフの特徴を捉え、英文の中から情報整理、分析する力が求められる。
1 BのQ2の正答率が低い。単語スペルミスや冠詞の付け忘れなどに注意。
2 ヘルシンキやトラム(路面電車)の歴史・役割について
出題形式もほぼ例年通り。文章全体の細かい理解が試されている。
3 説明文 農業と食料問題について
やや抽象的なテーマに対して対応策を引き出し、英語で表現することが求められる。
問9の自由英作文は「問題を解決しやすくするために日常生活で私たちが
できること」について50語以内で書くもの。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2024目標点 英数国190+理社165=355
目標内申 61/65

- A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
- B: 標準(落とせない) 目安→正答率79~60%
- C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率59~40%
- D: 難問(1問でも出来ればよし) 目安→正答率39~11%
- E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下